R7.4.1現在

令和７（２０２５）年度　赤麻小学校スクールプラン

明治４３年１２月４日創立
大前尋常小学校と赤麻尋常小学校が、合併し、赤麻尋常高等小学校となりました。今年で１１５歳です。

赤麻小学校マスコットキャラクター「あかまる君」です。
栃木山をモデルに、H26．8．31　に誕生しました。

学校教育目標

◎あかるい子　◎かしこい子　◎たくましい子

めざす教職員像

温かい笑顔のチームあかま

◎人間性豊かで信頼される教職員
◎幅広い視野と確かな指導力をもった教職員
◎教育的愛情と使命感をもった教職員

【 目指す児童像　（藤岡中ブロック共通）】

夢と故郷（ふるさと）への誇りをもち、たくましく未来を切り拓く児童生徒

◎思いやりと向上心をもち、自他を尊重する子（あかるい子）
◎自ら問い、考え、学び合い、高め合う子（かしこい子）
◎心身共に健康で、粘り強く最後までやりぬく子（たくましい子）

めざす学校像

安心･自信･意欲･チャレンジ溢れる学校

◎ 子どもにとって、
『勉強がよくわかり、居がいの実感できる楽しい学校』
◎ 教職員にとって、
『自分のよさを生かすことのできる、やりがいのある学校』
◎ 保護者、地域の人にとって、
『親しみを感じ協力し合える学校』

保護者の思い・願い

◎自分で考え行動できる子
◎思いやりのある子
◎粘り強く最後まで頑張れる子

あかまっ子の合い言葉

＜なぜ＞　「気付き・考え・行動しよう！」
あ　：明るいあいさつ、進んでしよう（あかるい子）
か　：考え合い、学び合おう（かしこい子）
まっ：まっすぐ目を見て話を聴こう（かしこい子）
こ　：困難も不撓不屈で頑張ろう（たくましい子）

栃木型コミュニティースクール

『地域とともにある学校』をめざして

【授業力の向上】

【あかまるﾄﾞｯｼﾞﾎﾞｰﾙ】

学校経営方針

栃木市名誉市民　山本有三の精神「生命・人権尊重・絆」を基盤とする教育

１　学級経営の充実・・・ルールの確立　自己肯定感の育成　特別支援教育や相談機能を生かした指導の推進
２　授業力・指導力の向上・・・ＧＩＧＡスクール構想の推進（ＩＣＴの活用による「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実）
授業のＵＤ化の深化（自ら考え学ぶ意欲の育成　個に応じたきめ細かい学習指導　学び合い）
３　道徳教育･人権教育の推進・・・いじめや差別を許さない心の育成　藤岡一中Ｂ道徳研究の成果を生かす道徳教育の推進
４　地域とともにある学校づくりの推進・・・とちぎ未来アシストネットの活用　コミュニティ・スクールの推進
小中一貫教育の推進
５　同僚性の推進・・・「チームあかま」としての協働体制の強化　　報・連・相・確の徹底　　*働き方改革の推進*

【あかまっ子何でも発表会】

【あかまっこ体験ﾌｪｽﾀ】

本年度の課題及び努力点
（◎学校課題　☆小中一貫教育　*斜体赤字 R6学校評価低評価* ）

【学校課題】自ら考え、思いや考えを分かりやすく伝え合う力を高める指導の工夫
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習課題の工夫・改善を通して～

①あかるい子（優しさと向上心をもち、自他を尊重できる子）

ア　*基本的な生活習慣の定着*
☆*あいさつ*・返事の日常化
○早寝・早起き・朝ご飯
イ　心豊かで、喜び合い、励まし合い、支え合う子どもの育成
○道徳教育・人権教育の充実
◎一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
（教室環境の UD 化･人的環境の UD 化）
☆*多様性や互いのよさを認め合える特別活動の工夫*
ウ　学校や地域を愛し、地域とともに成長する子どもの育成
○地域の歴史、伝統、自然を大切にするふるさと学習の充実
○地域の教育力を生かした特色ある教育活動の推進（とちぎ未来アシストネットの活用）

【児童会企画の朝のあいさつ運動】

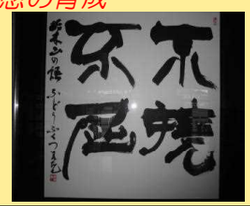
②かしこい子（自ら課題を見つけ、協働して学び合う子）

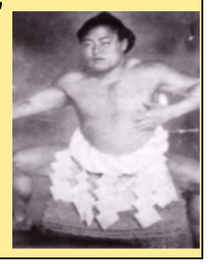
ア　基礎的・基本的な学習内容が確実に身に付いた子どもの育成
○基礎的・基本的な知識技能の習得
◎特別支援教育の充実（*授業の UD 化*）
○ＩＣＴの活用
イ　主体的に学び合う子どもの育成
◎学び合いによる学習の推進
◎自分の考えを表現する場の設定
◎児童が学ぶ意味を感じ取り組みたくなる学習課題の工夫
○多様な他者と協働し課題解決を図るグローバル教育の推進
○家庭学習、*読書の習慣化*
○タブレットの活用促進
ウ　学習意欲を高めるためのわかる授業づくりと*学業指導の充実*
○学びに向かう集団づくりと、*立腰を心掛け目を見て話を聴く習慣の定着*
○意欲的に取り組む授業づくり
（一人一公開授業の実施）

【学ぶ意欲の育成】
学び合う授業

③たくましい子（粘り強く、最後までやりぬく子）

ア　健康で安全な生活態度や習慣が身に付いた子どもの育成
○教育相談の充実
○食育の充実　*○清掃指導の強化*
☆ゲームやメディア視聴時間等を含む生活習慣の改善
イ　運動に親しみ、進んで体力の向上に努める子どもの育成
☆自分のめあてに向けた体力づくりの強化
○外遊びの奨励
ウ　失敗を恐れず、粘り強くやり抜く子どもの育成
○挑戦する機会の充実
○成功体験からの自己肯定感の育成
○努力の継続指導
（日記、自主学習等）
【赤麻小の大先輩
第２７代横綱栃木山の
座右の銘「不撓不屈」】





本校ならではの教育　「地域の教育力を生かし、地域の中に生き、地域と一体となった教育」をすすめるために

◆コミュニティ･スクールの推進　◆とちぎ未来アシストネットの活用（学校支援ボランティア、保護者、地域の方による授業への協力と地域への貢献）　◆学校評価（自己評価及び学校関係者評価）の充実　◆ふるさと学習の充実　◆学校情報の積極的な発信（各種たより、メール配信、ホームページの充実）◆保護者や地域と一体となった学校行事の実施（「あかまっこ体験フェスタ」等）